

2020 年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価																		
作成日		令和3年1月20日																
法人名	園名																	
照治福祉会	摂津峡認定こども園																	
まとめ		全体平均 4.42																
第2章第2節 乳児期の園児の保育	一人ひとりの思いや欲求に応じて保育がなされていると思います。また、この時期に経験しておくべきことについても準備をして実践し、環境にも配慮がなされていると思います。子どもの育ちについて、保育者は保護者に対し、これまで以上に積極的に声をかけ、一体となって子どもの育ちについて見守っていきけるような関係を作り、子育ての支援をしていくことが大切と考えます。																	
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	保育者の子どもへの関り方が課題に挙がっています。この課題はどの保育者にも問われることで、大人の思いや価値観を無意識に押し付けていないか、子どもの気持ちに寄り添うことはどういうことなのか常に自分に問いかけながら保育を行うことが大切と考えます。																	
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	子どもの心情・意欲・態度に寄り添うためにも、いつでも応えられるような準備が大切だと思います。大人の価値や思いを押し付けることなく子どもが大人に問いかけてきたことに応えられるよう環境を用意したり、それが出来る知識技能が求められると思います。そういった面ではまだまだ研鑽が必要と考えます。																	
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	保育教諭のほかに、栄養士、保健師、看護師を配置しておりその専門性が十分に発揮できる環境を作ることが大切と考えます。色々な視点から子どもの育ちについて、その立場にあるものがやるべきことややらなければいけないことを見極め各分野が連携し見守っていききたいと思ひます。学びや育ちの連続性に配慮し職員間の連携、情報の共有が更に求められ保育の計画を進めていききたいと思ひます。																	
第3章 健康及び安全	健康支援についてはコロナ対策など感染症についての意識は高まっており対策も行っています。また、食育の推進について担当の栄養士が幼児クラスの主幹と連携し行っていますが、野菜の栽培や園庭の植栽環境を通した取り組みが十分でなく、保育者の知識や意識を高め取り組んでいくことが課題に挙げられます。自然豊かな環境に配慮した計画を充実させていききたいと思ひます。また、施設環境の安全チェックと子どもの健康と衛生管理について、毎月のチェックと見直しを行っている。災害への備えとして、避難訓練などを形態を変えて都度行っている。																	
第4章 子育ての支援	コロナ感染が心配される中、園として出来ることとして知恵と工夫で出来る限りのことを行ってきました。個別による子育ての支援については、担任と保護者、園と保護者の関係を築き信頼のもとで何でも話せるようにこれからも努めていききたいところであります。この関係性が構築されるということは、子どものよりよい生活環境を保障することにつながると考えます。これからも重点的な課題として取り組んでいききたいと思ひます。																	
第5章 職員の資質向上	保育者の知識技能について、子どもが求める環境として準備しておく必要があります。保育者は、音楽、造形、自然等それぞれの領域での知識技能を主体的に習得し、子どもの思いに応じていききたいと思ひます。それに加え、子どもの育ちについて見通しをもって保育計画をマネジメントする力、すなわち専門性も深めていききたいと思ひます。そのために目の前の子どもたちの実態を把握し、子どもの気持ちを理解し適切に応えられる目を磨き、子どもの育ちについて職員間で共有することが大切と考えます。																	
総合	今回の自己評価について、色々な立場の職員に参画してもらいました。内容、項目によっては、話し合って取り組むところもありました。保育の現場においては、職員一人ひとりが考え行動していることが、これを機によくわかりました。改めてお互いを認め合い対話をもってすすめていききたいと思ひました。また、地域の方や保護者に信頼され安心して利用していただくために、そしてすべての子どもが笑顔でいられるためにも、私たちの役割と使命を自覚し、出来ることを一歩踏み出していきたいと思ひました。																	
データ表																		
内容	項目数	平均																
「乳児保育」	15	4.67																
「3歳未満児保育」	32	3.78																
「3歳以上児保育」	53	4.85																
「教育保育の配慮事項」	16	4.69																
「健康・安全」	29	4.14																
「子育ての支援」	16	4.50																
「職員の資質向上」	9	4.00																
計	170	4.42																
データグラフ																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「乳児保育」</td> <td>4.67</td> </tr> <tr> <td>「3歳未満児保育」</td> <td>3.78</td> </tr> <tr> <td>「3歳以上児保育」</td> <td>4.85</td> </tr> <tr> <td>「教育保育の配慮事項」</td> <td>4.69</td> </tr> <tr> <td>「健康・安全」</td> <td>4.14</td> </tr> <tr> <td>「子育ての支援」</td> <td>4.50</td> </tr> <tr> <td>「職員の資質向上」</td> <td>4.00</td> </tr> </tbody> </table>			項目	平均	「乳児保育」	4.67	「3歳未満児保育」	3.78	「3歳以上児保育」	4.85	「教育保育の配慮事項」	4.69	「健康・安全」	4.14	「子育ての支援」	4.50	「職員の資質向上」	4.00
項目	平均																	
「乳児保育」	4.67																	
「3歳未満児保育」	3.78																	
「3歳以上児保育」	4.85																	
「教育保育の配慮事項」	4.69																	
「健康・安全」	4.14																	
「子育ての支援」	4.50																	
「職員の資質向上」	4.00																	